



《教育長メッセージ 第69号》

『第2期えびなっ子しあわせプラン』

私は、平成27年に改めて、新教育長に就任し、任期の3カ年に「えびなっ子しあわせプラン」を柱に学校教育を進めてきました。

その中で、子どもの今と将来のしあわせのために、次の6つの取組を進めてきました。

＜身につける3つの力＞

①学力の向上

自分の夢を実現するために、生涯にわたって学習を継続する意欲と確かな学力を義務教育9年間で身につけます。そのために、よりよい授業づくりのための授業改善に取り組みます。

②集団力の育成

よりよい人間関係を構築し、集団の一員として自分の役割を果たし、集団のために自分の力を役立て、集団をよりよくしようとする力を育みます。そのために、人間関係づくりの学習に取り組みます。

③健康安全力の育成

自分の健康や安全を自分で守り、仲間とともに命を大切にして生活する力を育みます。そのために、いのちを守るための学習や元気なえびなっ子プランに取り組みます。

＜これからの学校の姿＞

④教育課程の検討

子どもたちの学習活動を十分に保障し、各学校が特色ある学校教育計画を展開するためのよりよい教育課程の在り方について検討します。

⑤小中一貫教育の推進

子供たちの成長を9年間のトータルで指導・支援するために、各中学校区の子どもの実態や地域の特色に応じた小中一貫教育を推進します。

⑥海老名型コミュニティ・スクールの導入

学校応援団や学校評議員を中心に保護者や地域住民が学校運営に参画し、子どもたちや学校を支援することを目的とした海老名型コミュニティ・スクールを導入します。

そして、今年度から、職を継続するにあたり、これからの任期の３年間で「第２期えびなっ子しあわせプラン」に取り組むこととしました。

本プランでは、これまでの３年間の取組を継続し、次の３点について、学校教育の中で重点的に取り組むこととしました。

＜３つの重点＞

① 授業改善

授業は、学校教育活動の核心であり、よりよい授業をつくることは、追求し続ける教職員の大命題です。私は、あらためて、海老名市の教職員全員でこの大命題に取り組みます。新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」を実践するとともに、何より、常に、教職員の本懐として、追求し続ける姿勢を身につけたいと考えます。

② 新たな教育課程の編成

教育課程（各学校の教育目標を達成するための教育計画）は、各学校に編成権があります。校長を中心とした学校ごとの「カリキュラムマネジメント」の確立や新学習指導要領のキーワードである「社会に開かれた教育課程」について研究し、新たな教育課程の編成を進めたいと考えています。

③ 「小中一貫教育」「コミュニティ・スクール」の推進

平成２９年度の「小中一貫教育」、今年度からの「コミュニティ・スクール」の市内小中学校での実施に伴い、新たな学校体制を充実させていきたいと考えます。子どもや学校が保護者や地域住民に支えられ、地域に愛される学校になることをめざします。

本プラン推進にあたっては、前回の３年間の取組と同様に、３つの取組ごとに、教職員を中心とした委員会等を設置して、教育実践と成果物の作成などに取り組んでいきます。

今後、周知のためのリーフレットを作成し、教職員はもちろん、保護者や地域住民、行政機関に配付したいと考えているところです。

めざすのは、子どもの今と将来のしあわせのために、保護者、市民、行政が連携し、一丸となって取り組む教育行政です。

次回は、「義務教育の無償化」について、私の考えを述べてみたいと思います。

